



## 格差1.5倍、夏季手当+0.1ヶ月のみでは 到底納得いかない!!

申16号 現場第一の姿勢で職責を超えて奮闘する職場の努力に報い、  
生活とモチベーションの維持・向上の実現を求める緊急再申し入れ

申12号および申13号の団体交渉において、組合員・社員の厳しい生活実感や、過去最高の働き度となっている労働実感、離職やモチベーション低下に対する危機感を訴え、職場の本音と現実を会社として十分に把握し、判断すべきと強く求めてきました。

また、3月6日回答を受けた直後に、東北新幹線の列車が分離するという「重大インシデント」が発生し、運輸安全委員会から調査を受ける事態となりました。職場では輸送の確保と旅客案内に全力で取り組んできました。あらためて、現場は職責を超えて奮闘していることを真摯に受け止め、職場の声に応える姿勢が求められています。

JR東労組は、JR総連春闘として一貫して掲げた要求と、組合員・社員の現実や声を大切にし、回答が示されて以降も職場議論を積み上げてきました。

したがって、現場第一の姿勢で職責を超えて奮闘する職場の努力に報い、生活とモチベーションの維持・向上を実現するため、

### 要求満額での回答を強く求めます!

新賃金と夏季手当の**回答を撤回し、**

1. JR東労組組合員・社員の基本給を**一律15,000円引き上げること。**  
(定期昇給を含まない)

エルダー組合員・社員の基本賃金を**15,000円引き上げること。**

2. 2025年度夏季手当を**基準内賃金の3.2ヶ月とすること。**

**本日提出!**

会社回答に対する職場からの声

「物価高に賃金が追いつかない」「過去最高の働き度に報いていない」「ベアの格差拡大は認められない」「早期回答の春闘破壊だ」「全力で取り組んだ評価がプラス0.1ヶ月なのか」など、不満や不信、納得できないとの声。

会社から「最大限」として示された回答に職場からは、到底納得いかないとの多くの声。